

「おふくろの味」を再び食卓へ！

活動の名称

神石高原町残しておきたいおふくろの味

団体等の名称

広島県 神石公民館いきいきふれあい教室

活動に含まれる（連携している）団体等

- 幼稚園 ■ 保育所 ■ 小学校 ■ 中学校 ■ 高等学校 □ 中等教育学校 □ 特別支援学校
□ 児童館 ■ 公民館 ■ 図書館 □ PTA □ 子育て・教育支援団体、NPO □ 企業・事業所
■ 病院・保健所 □ 早寝早起き朝ごはん運動・家庭教育支援に関する実行委員会・協議会
■ 行政（教育委員会） ■ 行政（保健・福祉部局） ■ 行政（その他の部局 産業課 食育ネットワーク会議） ■ その他（道の駅）

活動の概要

◆ 活動の目的・趣旨

食を通して、基本的生活習慣の定着の大切さを地域全体に広げるとともに、子どもたちの基本的生活習慣の改善を図ることを目的に活動する。

◆ 主な活動内容

○ 小学校での「味噌づくり」指導実施

小学校の総合的な学習の時間に、ゲストティーチャーとして、味噌づくりを通した調和のとれた昔ながらの食事の大切さについて指導を行っている。

○ 公民館におけるクッキング教室の実施

公民館において地域の子どもたちを対象にクッキング教室を実施し、昔の生活と今の生活の比較をしながら、調和のとれた食事の大切さや、規則正しい生活リズムの大切さについてなどの指導を行っている。

○ 子どもたちのために情報誌「残しておきたいおふくろの味」の編集及び普及活動

調和のとれた食事の大切さなどについて、情報誌にまとめ、保育所、小学校、中学校、高等学校、商業施設などに配付し、子どもたちや地域住民等に普及を図っている。

○ 情報誌「残しておきたいおふくろの味」の小学校における有効活用

小学校の栄養教諭と連携し、情報誌の内容を常時学校で展示するとともに、調和のとれた食事の大切さについてなど、栄養教諭が児童に指導を行っている。また、展示をすることにより、来校する保護者への食育への啓発にもつながっている。

○ 町内全小中学校における情報誌のメニューの活用

情報誌のレシピにあるこんにゃく料理を「神石高原ランチ」として、町内全小中学校の学校給食のメニューの中に取り入れ、給食放送などを通じて、ご飯を中心とした一汁二菜の日本古来の調和のとれた食事の大切さについてや、早く起きて朝食を作る・食べるといったことなど、児童生徒への啓発を行っている。

○ 講演会及び試食の実施

大学教授による講演会を実施するとともに、試食会を行い、子どもたちの調和のとれた食事や規則正しい生活リズムが栄養吸収には欠かせないことを保護者、地域住民等へ啓発を行っている。

◆ 活動の成果と今後の展望

○ 食に関する意識の向上

情報誌のレシピを活用した指導の取組の効果として、県教育委員会で実施している「食に関するアンケート」結果から、調和のとれた朝食を摂取している児童の割合が、平成24年6月時点 55%から9月時点 73%へと増加した。また、「郷土料理を知っている(5種類以上)」と答えた児童が100%になった。

○ 児童、保護者などの生活習慣の改善に対する意識の高まり

学校や公民館、講演会を通じて、食への興味・関心が高まるとともに、規則正しい生活リズムが、体に栄養を吸収するために大切であることなど、児童、保護者などの意識が高まった。

○ 家庭生活を見直す取組の継続

地域に根付いた「食文化」を継承することは「食」はもとより、現代の『生活』を原点から見直すことになるの思いから、自分たちが受け継いできたものを次世代へ引き継ぐ活動を今後とも続ける。



＜味噌づくりの様子＞



＜レシピをまとめた本が大好評＞